

2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年7月21日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アジュバンホールディングス
 コード番号 4929 URL <https://www.adjuvant-hd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 中村 豊
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部本部長 (氏名) 中川 秀男 TEL 078-351-3135
 四半期報告書提出予定日 2023年7月28日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年3月21日～2023年6月20日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	1,073	3.7	△23	—	△27	—	△43	—
2023年3月期第1四半期	1,035	△9.1	24	△80.8	43	△66.3	198	130.4

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 △42百万円(ー%) 2023年3月期第1四半期 198百万円(125.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	△5.48	—
2023年3月期第1四半期	24.77	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	5,334	4,252	79.7	532.69
2023年3月期	5,551	4,487	80.8	561.02

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 4,252百万円 2023年3月期 4,487百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	24.00	24.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	0.00	—	24.00	24.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年3月21日～2024年3月20日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,294	5.6	△72	—	△93	—	△88	—	△11.11
通期	5,082	16.1	151	△35.1	141	△46.9	76	△81.0	9.60

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付資料 8 頁「会計方針の変更」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2024年3月期1Q	8,043,600株	2023年3月期	8,043,600株
2024年3月期1Q	59,903株	2023年3月期	45,403株
2024年3月期1Q	7,985,029株	2023年3月期1Q	8,004,762株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 3 頁「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものです。

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、コロナ禍による経済社会活動への制約がほぼ解消され、内需を中心に景気は緩やかな回復基調を維持しました。グローバルでの地政学リスクやインフレなどによる景気減速リスクは依然として高く、さらに日本国内においては、急速な円安による経済への悪影響や物価高が懸念材料となるなど、先行きの見通しにくい経営環境が続いています。美容業界においては、アフターコロナの動きとして、外出規制やマスク規制の緩和など、厳しい状況ではあるものの景気持ち直しの傾向が高まり、当社商品を販売するアジュバンサロンにおいても同様の影響がありました。

美容業界のトレンドは、“自分らしく”や“私たちがらしく”など、個性を楽しむ時代へと変化しています。一方、生活用品価格の値上げ継続が見通され、従来のお気に入りや我慢をやめたり、トレードダウンする傾向が高まる中、美容業界においても顧客の消費マインドの変化が必然として起こりうると予測されます。

このような経営環境のもと、当社グループは、社員、代理店様、サロン様、お客様との「共創」をテーマに、社内外に向けて「美と健康を通じてすべての人に夢と感動をお届けする」という経営理念を浸透させ、ブランドの強化やトレンドを踏まえた製品開発・顧客消費マインドをプラスにする応援への取り組みを進めています。

当第1四半期連結累計期間の連結売上高は、1,073百万円（前年同期比3.7%増）となりました。営業活動もコロナ禍前に戻りつつある中、常態化されたオンラインも活用するなど、より効率的に営業活動を実施し、店舗サポートをした結果、増収となりました。詳細は区分別売上高の概要を参照ください。なお、アジュバンサロン実稼働軒数は、7,456軒（前年同期比 1,532軒増）となりました。

利益面におきましては、売上高の増加はありましたが、売上総利益率の低下、販売促進費、広告宣伝費、人件費、研究開発費などの増加及び保険解約損の発生により、営業損失23百万円（前年同期は営業利益24百万円）、経常損失27百万円（前年同期は経常利益43百万円）となりました。また、前年同期に発生した投資有価証券売却益263百万円がなくなったことにより、親会社株主に帰属する四半期純損失は43百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益198百万円）となりました。

区分別売上高は、売上割戻金を含めて次のとおりです。

区分	前第1四半期連結累計期間		当第1四半期連結累計期間		増減額 金額（百万円）	増減率 （%）
	金額（百万円）	構成比（%）	金額（百万円）	構成比（%）		
スキンケア	441	42.6	402	37.5	△38	△8.7
ヘアケア	642	62.0	720	67.2	78	12.3
その他	24	2.4	36	3.4	12	50.6
売上割戻金	△72	△7.0	△86	△8.1	△14	—
合計	1,035	100.0	1,073	100.0	38	3.7

(注) 1. ADJUVANT GLOBAL COMPANY LIMITED（連結子会社）、株式会社2C（連結子会社）及び株式会社シアール・プロフェッショナル（連結子会社）の売上高は、「その他」に含んでいます。

2. 売上割戻金は、商品ごとではなく売上高の合計を基準として割戻率を設定しているため、区分ごとに配賦せず合計額で表示しています。

国内海外別売上高は、次のとおりです。

区分	前第1四半期連結累計期間		当第1四半期連結累計期間		増減額 金額（百万円）	増減率 （%）
	金額（百万円）	構成比（%）	金額（百万円）	構成比（%）		
国内売上高	968	93.6	1,016	94.7	48	5.0
海外売上高	66	6.4	56	5.3	△10	△15.0
合計	1,035	100.0	1,073	100.0	38	3.7

当社グループは、単一セグメントであるためセグメント別の記載はしていませんが、区分別売上高の概要は以下のとおりです。

（スキンケア）

スキンケア商品の売上高は、既存スキンケアブランドは微増しているものの、新メイクブランド「rafuna（ラフナ）- point make -」の上市（2023年3月）がありました。昨年度発売した「rafuna（ラフナ）- base make -」導入期売上をリカバリーすることができず前期を下回る結果となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は402百万円（前年同期比8.7%減）となりました。

（ヘアケア）

ヘアケア商品の売上高は、新たなアウトバス・スタイリング剤ブランド「muts hair touch（ミューツ ヘア タッチ）」の上市（2023年6月）に付随したプレプロモーション、また、既存ヘアケアが微増ながら前期を上回った結果となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は720百万円（前年同期比12.3%増）となりました。

（その他）

ADJUVANT GLOBAL COMPANY LIMITED（連結子会社）の売上高は、新型コロナウイルス感染症の影響が徐々に小さくなり回復基調にあります。株式会社2C（連結子会社）の売上高は、ネット広告を計画的に実施し、順調に定期顧客を増やしています。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は36百万円（前年同期比50.6%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して217百万円減少の5,334百万円となりました。流動資産は、前連結会計年度末と比較して142百万円減少の3,197百万円となりました。主な変動要因は、現金及び預金133百万円の減少によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して74百万円減少の2,137百万円となりました。主な変動要因は、保険積立金75百万円、繰延税金資産11百万円の減少などによるものです。

負債合計は前連結会計年度末と比較して17百万円増加の1,081百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末と比較して24百万円増加の664百万円となりました。主な変動要因は、賞与引当金52百万円の増加、買掛金35百万円の増加、未払法人税等79百万円の減少などによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して7百万円減少の417百万円となりました。主な変動要因は、退職給付に係る負債の3百万円の減少、リース債務（長期）3百万円の減少などによるものです。

純資産は、前連結会計年度末と比較して234百万円減少の4,252百万円となりました。主な変動要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失43百万円、配当金の支払による減少191百万円などによるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期及び通期の業績予想につきましては、前回発表（2023年4月21日）の連結業績予想からの変更はありません。今後の業績推移等によって第2四半期及び通期業績予想の見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月20日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,528,011	1,394,732
売掛金	437,657	528,761
商品及び製品	898,279	900,828
仕掛品	79,605	38,157
原材料及び貯蔵品	243,583	200,066
その他	156,299	139,357
貸倒引当金	△3,992	△4,806
流動資産合計	3,339,446	3,197,097
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,180,920	1,190,300
土地	579,283	579,283
その他	448,407	450,406
減価償却累計額	△797,110	△798,620
有形固定資産合計	1,411,500	1,421,369
無形固定資産		
	66,078	62,918
投資その他の資産		
投資有価証券	490,498	495,329
長期貸付金	831	1,533
その他	248,970	161,787
貸倒引当金	△5,730	△5,730
投資その他の資産合計	734,570	652,920
固定資産合計	2,212,149	2,137,208
資産合計	5,551,595	5,334,306
負債の部		
流動負債		
買掛金	84,251	119,719
未払法人税等	89,289	9,663
賞与引当金	89,844	142,457
その他	376,602	392,280
流動負債合計	639,988	664,121
固定負債		
退職給付に係る負債	48,564	45,174
資産除去債務	7,352	7,352
長期未払金	356,345	356,345
その他	12,197	8,506
固定負債合計	424,460	417,378
負債合計	1,064,448	1,081,500

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月20日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	776,580	776,580
資本剰余金	747,694	747,694
利益剰余金	3,012,398	2,776,695
自己株式	△45,341	△45,341
株主資本合計	4,491,331	4,255,628
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△6,794	△3,459
為替換算調整勘定	2,609	637
その他の包括利益累計額合計	△4,184	△2,822
純資産合計	4,487,146	4,252,805
負債純資産合計	5,551,595	5,334,306

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年3月21日 至 2022年6月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年3月21日 至 2023年6月20日)
売上高	1,035,147	1,073,466
売上原価	347,471	364,263
売上総利益	687,675	709,203
販売費及び一般管理費	663,329	732,638
営業利益又は営業損失(△)	24,345	△23,435
営業外収益		
受取利息	65	4
受取配当金	77	67
受取家賃	425	300
為替差益	18,385	15,212
貸倒引当金戻入額	50	—
雑収入	567	1,262
営業外収益合計	19,571	16,846
営業外費用		
支払手数料	228	—
保険解約損	—	20,726
営業外費用合計	228	20,726
経常利益又は経常損失(△)	43,687	△27,315
特別利益		
投資有価証券売却益	263,253	—
リース債務取崩益	—	3,142
特別利益合計	263,253	3,142
特別損失		
固定資産除却損	331	2,894
特別損失合計	331	2,894
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	306,609	△27,067
法人税、住民税及び事業税	20,880	6,753
法人税等調整額	87,487	9,925
法人税等合計	108,368	16,679
四半期純利益又は四半期純損失(△)	198,241	△43,746
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	198,241	△43,746

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年3月21日 至 2022年6月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年3月21日 至 2023年6月20日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	198,241	△43,746
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△476	3,334
為替換算調整勘定	655	△1,972
その他の包括利益合計	178	1,362
四半期包括利益	198,420	△42,384
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	198,420	△42,384
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

（時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用）

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。

これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

（セグメント情報）

当社グループは、化粧品の商品企画、研究開発、販売及びこれに附帯するサービス業務を営む単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しています。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。